

市長から市民のみなさんへ

92

山陽小野田市長 白井 博文

"レジ袋"の無料配布中止にご理解、ご協力を

4月から県内の主要なスーパーマーケットで、レジ袋の無料配布が中止されます。今まで当たり前のように使っていたレジ袋が有料化されることで、ご不便を感じる方もいらっしゃるでしょうが、"マイバッグ"運動の更なる推進を図ることで、ごみ減量化、地球温暖化防止へとつなげていこうという取組みの趣旨をご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

地球規模の緊急の課題としてクローズアップされている環境問題に、国をはじめ行政としても本格的な対策に乗り出しています。肝心なのは、日々の暮らしの中での一人ひとりの小さな心掛けではないでしょうか。今回のレジ袋有料化が、市民のみなさんへの意識啓発にも一役買ってくれることもあわせて期待しています。

市職員特殊勤務手当検討委員会から提言書をいただきました。

2月13日、市職員特殊勤務手当検討委員会から、提言書が提出されました。平日の夜の開催にもかかわらず、熱心に協議を重ね、提言書をまとめたいただいた委員の皆様のご尽力には厚く御礼申し上げます。

他の自治体においては、特殊勤務手当の見直しを合併前後に終えている例が多く、それに比して、本市での作業が遅れている現状は否めませんが、今回の提言

を受けて、各部局で交渉がはじまる予定です。妥当な内容で実施できるように調整を図っていくつもりです。

今号をもって、「市長から市民のみなさんへ」は休止します

私が市長就任後の平成17年6月1日号から、広報「さんようおのだ」において、毎号、掲載してきた「市長から市民のみなさんへ」を、今号をもちまして、休止します。今までのご愛読、ありがとうございました。

月に2回、市からのお知らせを満載してお届けしている広報紙ですが、限られた紙面では、政策決定に至った経緯など、うまくお伝えできないところを、私自身の考えを交えながら補足していくことにより、一人でも多くの市民のみなさんに「今、市では何が起きているのか」「市は何をしようとしているのか」という点について関心を持っていただきたい、その一心で、続けてきたつもりです。

市民参加のまちづくりをすすめていくには、「市民への情報提供」という土台が欠かせないわけですが、このコラムが、多少なりとも、そのお役に立ったのならうれしく思います。

これからも、広報「さんようおのだ」をご愛顧、ご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

ふるさとへの 手紙



「生まれ育った故郷に恩返しがかねてから出来ればと考えていました。今般、この制度を利用して少しでも恩返しが出来ればと思ひ些少ではありますが、有効にご利用いただければと存じます」(40代 男性)

「より豊かで、文化的で、誰もが住みたくなるまちになりますように。」(60代 女性)

今回は、「サポート寄附（ふるさと納税）」申込時にいただいたふるさとへの"熱き"メッセージをご紹介します。引き続き、市外にお住まいのご家族、お知り合いの方へのサポート寄附のお声かけをよろしくお願いいたします。【問い合わせ先：企画課 ☎ 82-1130】

「私が生まれ育った山陽小野田市が『人が輝く心豊かなまち』になるように願っております。」(50代 女性)

「私は小野田市（現在の山陽小野田市）で幼少期を過ごし、今でも故郷として思い出せるのはこの地しかありません。是非とも貢献したいと思っていますのでよろしくお願いいたします。」(20代 男性)